

鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!

第20回（2月25日（火）放送分）の概要

今回は、最終回ということでこれまでのまとめをしましょう。

まずは「ゼロカーボン」のそもそもの意味やなぜ取り組まなければいけないかということから学びが始まりましたね。

「ゼロカーボンの取り組みは、地域が元気になるための取り組みとすべきである」といったような話をしました。

鹿角市が実施している本分野に係る補助事業について紹介し、その中には冷蔵庫といった省エネ家電の補助、事業所の省エネ設備更新の話もありました。

ゼロカーボンって二酸化炭素を減らすためだけではなくて、地域の経済をまわす、活性化させるという面をもっていることを初めて知りました。数字も大切ですが、鹿角市がそして市民がこれからも元気をキープするための政策として重要だということに気づきました。

また再生可能エネルギーには、木質バイオマス、水力、地熱、風力と様々なものがあり、鹿角にはそれらがそろっているという強みがあります。これからの大切なエネルギー資源がすぐそばに実はあります。市民のみなさん、リスナーの皆さんにそこが伝わってほしいなと思っています。

鹿角は自然に恵まれているだけでなく、実はその自然を使ったエネルギー資源にも恵まれている地域だということを実感しました。その豊かな自然と安全な暮らしをつなぐ架け橋になっている「かつのパワー」という企業が地元で設立されたことも、本当に心強いですね。

J-クレジットという価値を取引するという話、それから電気自動車や水素エネルギー、ペロブスカイト太陽電池、グリーンスローモビリティといった用語も使わせていただきました。

知らない言葉、新しい言葉、次々出てきました。技術が開発され、実用化へ向かって進んでいることを感じました。

「地球温暖化の速度を緩やかにするとか、CO₂の削減という効果のために活動を行う」という観点ももちろんありますが、「ゼロカーボンに取り組むことによる効果は、私たちにとって身近なものだ」と感じてほしいと願っています。

例えば鹿角地域でいえば、生活環境や自然環境を守っていくことが大前提となりますが、子供たちの未来のために、ここにある豊富な再生可能な資源をもとに新しい発電を実施し、その利益を地域に還元できれば、経済は潤い、いろんな活動が活発になり、魅力的な働く場が生まれてくると思います。

そういった感じを持ってもらえると、ご家庭でできる省電力やCO₂の削減への取り組みもこれからますます増えていくはずです。

ゼロカーボンの活動を通じて、「かつの」は元気になることができる可能性が十分にあります。この可能性の先に、自立した町づくり、持続可能な鹿角市の未来があるのではないのでしょうか。

私も、引き続き「かつのが元気になるためのゼロカーボンに係る活動」を実施し、「鹿角地域の活性化」に貢献できたらと考えています。

ゼロカーボンという言葉を通じて、たくさんの気づきをありがとうございました！